

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年9月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月29日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:夏学期が5月下旬～8月中旬 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約40000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料		714000円	
宿舍費		661000円	
食費		50000円	
図書費		3000円	教科書一冊
学用品費		2000円	
教養娯楽費		0円	
被服費		10000円	
医療費		22000円	保険に入っていたため全額戻ってきた
保険費		32000円	形態:明治大学指定の海外保険、プラン②(4か月)
渡航旅費		185000円	変更料含む
雑費		300000円	アメリカ国内での旅費、娯楽費等
その他		38000円	VISA
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		2017000円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 往路: 成田→ロサンゼルス→サンフランシスコ  
復路: ニューヨーク→ダラス→成田

## 渡航費用

チケットの種類 アメリカン航空  
往路 \_\_\_\_\_  
復路 \_\_\_\_\_  
合計 165000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明大マートで航空券を買いました。ニューヨークに観光したかったので、復路はニューヨーク経由にしてもらいました。往路も復路もアメリカ国内で乗り換えがありました。また、日付変更可能な航空券にしろ、20000 円の手数料はかかりましたが、復路の日付を 8 月ごろ実際に変更しました。

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮(International House)

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_ )

3) 住居を探した方法:

International house のサイトから申し込みました

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

とてもいい寮です。様々な国の留学生と交流できます。現地の学生も多くはありませんがいました。建物自体は古いですが、中はキレイで清潔感があります。食事も文句なしの美味しさです。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した: 大学の病院を受診しました。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題はなかったです。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館から連絡がありました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学校内や寮はもちろん、基本的に多くの店に wifi がありました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行の ATM を使い、クレジットカードでキャッシングしていました。街中にある ATM なら基本的にキャッシングできる感じでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし、基本的になんでも手に入ります。薬系やコンタクトレンズ、洗浄液は日本から持っていました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

クレジットカードで支払いました。授業料は二月下旬、寮費は三月上旬に支払いました。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特になし
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
メーカー
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学して、自分の将来やりたいことが見えたように思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Women in American Culture	アメリカ文化における女性のジェンダー学
科目設置学部・研究科	Department of gender and women's studies
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義が週三回、講義内でグループディスカッションが週二回、パネルディスカッションが週一回(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Kirsten Vacca
授業内容	ジェンダーを考古学的な視点から学ぶ授業です。18 世紀から 20 世紀のアメリカ史におけるジェンダーの在り方(特に女性)を学びました。ネイティブアメリカンの non-binary ジェンダーについて多く学びました。
試験・課題など	6 週間の間に、論文の要約を word1-2 ページで書く課題が二回、論文に対する critical questions を考える課題が二回、最終レポートのベンチマーク(計画書みたいなもの)を三回、ファイナルグループ発表、ファイナルレポートは word で 5 ページ程度。中間、期末試験はなし。一週間に 20-30 ページの論文を4つ読み、それをもとに授業、グループディスカッション、課題に取り組みました。
感想を自由記入	今回のサマーセッションで一番達成感を感じた授業でした。全体の人数は 20 名ほどで、現地生や留学生のバランスがよかったと思います。Kristen 教授はとても親切で、努力をちゃんと見てくれる教授だったので、毎週 office hours に行き、英語力が足りないながらも頑張ることができました。課題は多かったです、頑張ればこなせる量だと思います。また課題に対してのフィードバックももらえ、自分の問題点を見つけることができました。グループディスカッションやパネルディスカッションでは、初めのほうはついていくことができませんでしたが、自分がどのようにグループで発言できるか、少しでも貢献できるようにと考え、参加しました。期末レポートは自分でテーマを選ぶことができ、僕は日本とアメリカの LGBT コミュニティの違いについて書きました。期末レポートのテーマをもとに 5 つのグループに分けられて、同じようなテーマの人たちと最終グループ発表を行いました。この授業では、グループワークが多かったので、たくさんコミュニケーションをとる機会があってよかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Stigma and Prejudice	汚名と偏見
科目設置学部・研究科	Department of Psychology
履修期間	Session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Rodolfo Mendoza-Denton
授業内容	心理学の観点から偏見について学びます。どのような精神メカニズムが働いているのか等を学びました。
試験・課題など	ファイナルプレゼンテーションと期末試験がメイン。他には文献の内容に基づいたクイズが3回くらい、授業内に見たビデオの感想を書く課題等がありました。週に 50-70 ページくらいの心理学の論文を読みます。
感想を自由記入	僕は、心理学は明治大学で学んだことがなく、今回初めて心理学の授業を受けましたが、初心者には難しい高度な授業でした。授業は分かりやすいパワーポイントを使っているの、なんとなくわかりますが、論文は難しいものが多かったです。ですので、心理学を学んでいない人にはあまりお勧めしません。Rodolfo 教授はとても留学生に理解がある人で、たくさん相談に乗ってくれました。日本人一人で不安もありましたが、現地の学生にもたくさん助けられたおかげで最後まで頑張れました。授業で学生が活発に発言し、その場でグループを作ってディスカッションをしたり、ゲームをしたり、とてもアクティブな授業で、Rodolfo 教授が授業を楽しくしてくれていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Anime	アニメ
科目設置学部・研究科	Department of Film and Media
履修期間	Session D
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義が週 3 回、Screening(アニメを見る時間)が週 2 回(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Hannah Arriess
授業内容	日本のアニメを多角的な視点から学ぶ授業で、テクノロジー、メディア、自然、ジェンダー、メカニック、オタク文化やクールジャパンなどのテーマとアニメの関連性を学びました。20 世紀前半から現在に至るまでの様々なアニメ作品を扱いました。何回か小さいグループでのディスカッションがありました。
試験・課題など	中間テスト、期末テストがメイン。週一回の 300word 程度の感想を書く課題が 5 回、1000words のイントロダクションエッセイが一回。
感想を自由記入	今回のサマーセッションで一番面白いと感じた授業でした。元々明治大学でアニメの授業を取っていたこともあり、内容がスムーズに理解できました。それに加え、新たな視点からアニメというものを見ることができたので発見も多かったです。日本人ということで、日本人ならではの観点から発言もでき、授業にも大きく貢献できたと思います。毎週 office hours に行き、教授に質問をしたり、自分の考えを伝えたりすることで、よりこの授業への姿勢を高めることができました。授業を取っている学生はアニメや日本に興味がある人が多かったの、友達も作りやすかったです。学問としてアニメを学ぶことができ、とてもいい経験になったと思います。理解度が大きく変わるので、サマーセッションで取る授業と同じような科目を履修しておくことは強くお勧めしたいです。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	12月:UCSS プログラムに出願
2019年 1月～3月	1月:合格 2月:UCB に出願 3月:寮に申請する
4月～7月	4月:ビザ取得 5月:SessionA 開始 7月:SessionA 終了、SessionD 開始
8月～9月	8月:SessionD 終了 帰国
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	留学をしたいという思いは大学入学時からありました。しかし、1～3年の時はサークル活動に専念していたため、留学するチャンスがありませんでした。サークル引退後に留学を決心し、UCSSのプログラムに応募することを決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力はあるに越したことはないと思います。自分の語学力に関して、UCSSの申し込みの時点ではToeicの700点台前半で、そこから留学に向けて語学の勉強をしましたが、それでも不十分だったと思います。周りの留学生は高いToeflやIeltsのスコアを持っている人ばかりなので、自分の英語力のなさを痛感しました。特にリスニングは授業を理解するうえで一番大切だと思いました。UCBのサマーセッションに参加しようと思ったその時から、英語力を向上させる努力をすることをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	UCBという世界でもトップクラスの環境で学べる機会はそうそうないと思います。留学したいと考えていた時、目に留まったのがUCSSでした。専門科目をレベルの高い環境で学ぶことのできる貴重な機会だと思い応募しました。また、応募条件にToeicがあったことも大きな理由でした。
大学・学生の雰囲気	大学のキャンパスは広大です。寮から自分の取っている授業が行われる教室に行くのに20分ほどかかりました。学生はとにかく勉強熱心でした。UCBの現地生はもちろん、UC系列の大学からきている学生、世界の優秀な大学からきている学生が多かったです。
寮の雰囲気	International Houseはとてもいい寮でした。世界各国からたくさんの留学生が来ているので、色々な国の友達を作ることができました。交流する機会は食事の時や、一番主なものは毎週水曜日の21時から行われるcoffee hourだと思います。時にはLebanon coffee hourやkorean coffee hourなどもあり楽しかったです。寮主催のイベントもあり、例えば、有名なミュージカルをサンフランシスコで見るイベントに参加したり、Six flagsという遊園地に行ったりもしました。建物自体は古く長い伝統がありますが、中は清潔でキレイだったと思います。部屋は収納スペースも多く、ベッドの質も良く快適でした。私は一人部屋を選択しましたが、自分の性格的に一人部屋が合っていたので良かったと思っています。特に前半のセッションは課題に追われていたので、一人になる空間があってよかったです。ただ、後半のセッションは逆にゆとりがあった分、時折一人部屋であることに寂しさを感じたこともあります。しかし、仲良くなった子を部屋に呼んだりして会話をしたり、ゲームをしたりもできたので、一人部屋のメリットはあると思います。
交友関係	とにかく友達をたくさん作りたいと思って、色々な人に積極的に声をかけました。寮の食堂で一人で食事をしている人に声をかけて一緒に食事をして、そこから仲良くなることもありました。International houseはcoffee hourなどイベントもたくさんあるので、交友関係を広げやすかったです。一番仲良くなった韓国人の友達も寮の子でした。他には、授業内で話しかけた子と仲良くなり、ナイトマーケットに行ったり、ご飯を食べに行ったり、ドライブを楽しんだりもしました。また日本語のクラスに行き、教授の許可をもらってlanguage partnerを作りました。language partnerの一人とはサンフランシスコやバークレーのベイエリアに行ったりしました。自分の行動次第で交友関係を広げることは可能だと思います。僕の場合は、一つのコミュニティにこだわらず、交友関係を広げていくことを意識していました。三か月しかないのに、最初から積極的になるのがいいのかなと思います。
困ったこと、大変だったこと	セッションDの後にアメリカ国内を観光しているときに、クレジットカードが使えなくなったときは、本当に焦りました。結局、クレジット会社に電話して解決しましたが、現金もある程度常備していた方が良かったと感じました。クレジットカードは三枚持っていました。現地の物価が高いので、あっという間に上限を超えてしまいます。クレジットカードは多めに持ち、上限も引き上げられるなら事前におくことをお勧めします。



学習内容・勉強について	<p>私は様々なジャンルの授業を履修しました。授業にもよりますが、学生が積極的に発言し、グループディスカッションやグループ発表を行ったり、アクティブな授業が多かったように感じます。セッション A は 2 つの授業(計 6 単位)を取りましたが、2 つとも簡単な授業ではなかったので毎日大変でした。対して、セッション D は 4 単位の授業が一つだけであったので、比較的時間に余裕があったかなと思います。どの授業に関してを言えることは、office hours を積極的に利用することをお勧めします。わからないことを質問でき、教授にも覚えてもらえるのがメリットだと思いました。</p> <p>また同じ授業でも教授によって大きく変わると思うので、来年行く人たちは、授業内容だけでなく、どの教授によって行われるのかも知った方がいいと思います。それとUCB で取る授業と同じような内容の授業をあらかじめ履修しておくこともお勧めします。</p>
課題・試験について	<p>僕の取っていた授業は 3 つともリーディングの量がとても多かったです。英語で文献を読むのは時間がかかり大変でした。課題の量は授業によります。僕の場合は Session A で取ったジェンダーの授業では、毎週エッセイなどの課題があり大変でした。また、ほかの授業では中間テストや期末テストは範囲も広く対策するのが大変でした。僕は授業で仲良くなった友達と一緒に勉強したり、スタディーグループに参加したりして、仲間の力を借りながら勉強しました。</p>
大学外の活動について	<p>あまり大学外の活動には参加しませんでした。ダンスのワークショップには何回か参加しました。そこで少し交友関係を広げられたと思います。</p>
留学を志す人へ	<p>留学中に達成したいことを明確にしておくといいと思います。そうすることで、どうやって留学生活を過ごそうか意識でき、毎日自発的に活動できると思います。特に UCSS は留学期間が短いので、一日一日を充実したものにするために、目標を持つことは大切だなと感じました。</p> <p>語学力はあるに越したことはありません。留学出願の基準をクリアしたあと、その先どれくらい英語力を伸ばそうと努力するのが重要だと思います。</p> <p>今振り返ると UCB での 3 か月は本当に有意義な時間だったと思います。前半の Session A は勉強が大変で辛かったです。毎日勉強に集中できる環境はとても貴重でしたし、UCB のハイレベルな環境の中で必死に努力したことは自分にとって大切なものとなりました。Session D では交友関係を深めることができ、他の国の留学生や現地の学生と楽しい時間を過ごしました。大切な友達もでき、留学にきて良かったと思いました。この報告書が少しでも役立てばうれしいです。</p>

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業		授業	自習	自習
	授業		授業		授業	もしくは	もしくは
午後		授業	授業	授業		友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
夕刻	自習	自習	自習	自習	自習		
夜	自習	自習	coffee hour	自習	自由時間		